

ご挨拶

第46回全国大会開催にあたって

大会運営委員長 山崎 美貴子

残暑お見舞い申し上げます。皆様、お変わりなく研究、実践、学習指導等お励みのことと存じます。

会員皆様ご存じのように、10月17・18日の予定で、日本社会福祉学会第46回全国大会が本学で開催されます。すでに、別掲シンポジウムのテーマ、シンポジスト、特別講演の講師等、ご協力により定まり、また、300人を超える口頭発表、ポスター発表の申し込みをいただきましたことを感謝申し上げます。

現在、会場設定、プログラムの作成などの準備も順調に進んでおります。この準備過程では、口頭発表における各分科会司会者をお引き受けいただくなど会員各位のご協力をいただき、感謝しております。

社会福祉、そしてこれを取りまく諸状況は大きな変化を経験しようとしています。こうした時期であるがゆえに現場実践、そしてソーシャルワークのあり方にいま一度立ちかえり、われわれの足もとを確かなものとする必要があると考えました。大会テーマやシンポジウムは、こうした考え方から企画されました。さらに、特別講演では実践を支える大切な理念のひとつであるノーマライゼーションについて、この理念の先駆者として知られるニリエ氏をスウェーデンより来日されることを機会にスピーチをいただきます。大会当日には、会員各位の活発な討議が展開されることを望んでおります。社会福祉学科教員一同、本学職員、そして学生ボランティアは、明治学院ホスピタリティを発揮するなかで、皆様とともに実りある大会運営をしていこうと考えております。都心部にあるキャンパスのため余裕のある会場準備ができず、会員にはいろいろとご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。また準備過程を含め、大会当日もいろいろと不手際があるかと思えますが、ご遠慮なくご指摘ください。

白金の丘で皆様と当日お目にかかれたいことを、私共一同心からお待ちしております。





日本社会福祉学会第46回全国大会 開催のご案内

日本社会福祉学会は、第46回全国大会を明治学院大学
で開催致します。

皆様の多数のご参加をお待ちしています。

【テーマ】わが国におけるソーシャルワーク研究の到達状況

【期間】1998年10月17日（土）～18日（日）

【会場】明治学院大学・白金校舎

1. 大会日程

第1日目 10月17日（土）

9:00 受付開始
10:00～11:40 自由研究発表
11:40～12:30 休憩・昼食
12:30～14:00 学会総会
14:00～17:00 シンポジウム・記念講演
18:00～20:00 懇談会

第2日目 10月18日（日）

9:00～12:00 自由研究発表
11:00～12:00 ポスター発表
12:00～13:00 休憩・昼食
13:00～15:00 自由研究発表
〈9:00～14:30 関連学会・研究会
紹介コーナー〉

第1日目 10月17日（土）

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	受付	自由研究 発表	休憩・ 昼食	学会総会		シンポジウム 記念講演					懇 談 会	

第2日目 10月18日（日）

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	受付	自由研究発表 ポスター発表 (11:00～12:00)	休憩・ 昼食	自由研究 発表								

〈9:00～14:30〉 関連学会・研究会紹介コーナー



◎大会シンポジウム

第1シンポジウム

テーマ：「社会福祉システムの再構築とソーシャルワーク理論のパラダイム」

司 会：北星学園大学 教授 松井二郎

シンポジスト：岩手県立大学 教授 岩崎浩三

中部学院大学 教授 窪田暁子

関西学院大学 教授 高田真治

ルーテル学院大学 助教授 福山和女

コメンテーター：明治学院大学 教授 山崎美貴子

第2シンポジウム

テーマ：「わが国におけるソーシャルワークとケアワークの研究状況」

司 会：浦和短期大学 教授 黒沢貞夫

シンポジスト：北海道医療大学 教授 伊藤淑子

淑徳短期大学 教授 亀山幸吉

長野大学 教授 須加美明

平安女学院短期大学 助教授 相澤譲治

コメンテーター：明治学院大学 教授 根本博司

◎記念講演

テーマ：「ノーマライゼーションの成果と展望」

講師：ベクト・ニリエ氏

ニリエ氏の略歴

1924年 スウェーデンに生まれる

1948年 ウプサラ大学社会学部卒

1952年 ストックホルム大学文学部卒

1952年～1954年 米国エール大学留学（修士課程、比較文学専攻）

1956年～1958年 スウェーデン赤十字オーストリア事務所勤務（難民問題担当）

1958年～1959年 スウェーデン脳性小児麻痺者援護団体事務局長

1961年～1971年 スウェーデン知的障害者育成会事務局長

この間、障害者団体中央委員会委員、政府障害者専門委員会委員などをつとめる。また、社会福祉理念の基礎となる「ノーマライゼーションの原理」（1969）を発表。全世界に大きな影響を与える。

1971年～1978年 カナダ・オンタリオ州政府付き障害者専門コーディネーター

1978年～1983年 スウェーデン・ウプサラ県障害福祉部長

1984年～ ウプサラ大学ハンディキャップ研究所顧問

その他の業績等

1981年 アメリカで、アドボカシー・リーダーシップ賞受賞

1985年 オーストリア政府より、オーストリア・ヨーロッパ賞受賞

1985年 スウェーデン国王より、ロイヤル勲章受章

1986年～ 国際障害者スポーツ大会評議委員

1988年～ 同大会 副会長

1990年 カナダ政府より、リーダーシップ賞受賞

1993年 スイス・フリプブル大学より、名誉博士号授与される



2.大会参加申込について

指定の参加申込葉書に、必要事項をご記入の上、大会事務局へお送り下さい。

3.大会参加費等の払い込み、研究報告概要集の購入について

(1) 大会参加費について（研究報告概要集を含む）

◎会員・非会員とも

9月30日（水）までに振込申込をした場合 6,000円

当日参加の場合 8,000円

◎非会員の院生・学部学生 3,000円

(2) 懇談会（第1日目の夜）の参加費は、お一人7,000円です。

準備の都合上、一定数に限らせて頂きますので、ご予約下さい。

なお、当日の参加希望は、希望者多数の場合、申込順とさせていただきますので、お含みおき下さい。

(3) 昼食の弁当1,000円もご予約下さい。大学付近には食堂等はほとんどありません。

(4) 大会参加費（研究報告概要集1部代金を含む）、懇談会参加費等は郵便振替払込通知票でお払い込み下さい。（領収書は郵便振替払込通知票をもって代えさせていただきます。）

なお、大会参加費は学会年会費とは用途を異にするものですから、お間違いのないようご注意ください。（学会年会費は学会事務局の方へご送金下さい。）

(5) 研究報告概要集のみをご希望の方は、1部につき3,000円を郵便振替払込通知票で予約申込（振込）して下さい。

郵便振替口座

口座番号 00120—5—30614

名 称 日本社会福祉学会第46回全国大会事務局

4.連絡・問い合わせ

日本社会福祉学会第46回全国大会事務局

所在地：〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

明治学院大学社会学部社会福祉学科内

FAX 03-5421-2260

◎連絡・お問い合わせに関して、大会事務局での常時対応は諸事情により不可能ですので、ファクシミリにてお願い致します。また、電子メールを利用してのご連絡も可能です。

matubara@soc.meijigakuin.ac.jp（松原）

※8月8日～8月16日は大学休暇中のため、お問い合わせには応じられません。

5.プログラムについて

8月下旬頃お送りできる予定です。



「社会福祉学」バックナンバー紹介（1996年6月～1997年12月）

- 「社会福祉学」(第37-1号 通巻54号) 1996年6月発行
 - 〈論 説〉在宅介護支援センターにおける援助実践
 - 実践内容を規程する組織要因の検討—
 - 文化変容ストレスに対するソーシャルサポートのインパクト
 - カナダ日系女性移住者の場合—
 - 精神障害者家族の認知と対処に関する研究
 - 感化救済事業 —日本における社会事業形成の基点—
 - 〈研究ノート〉ノーマライゼーションに求められるもの —多元主義の思想—
 - 精神障害者の生活適応とソーシャルサポート —単身生活者の場合—
 - 〈資 料〉小島幸治文書「救貧法関係書類」(綴)と5点の新救貧立法構想文書
 - 「窮民救助法案要項」「救貧法案ニ関スル意見」など—

- 「社会福祉学」(第37-2号 通巻55号) 1996年11月発行
 - 〈論 説〉高齢者の主観的幸福感を規定する要因の検討
 - ベヴァリッジのナショナル・ミニマム政策の意義と限界
 - 彼の労働問題と生活問題の把握を通じて—
 - 防貧と地方改良—日本における社会事業形成と基点—
 - 山村軍平と救癪
 - ソーシャルワークにおける媒介実践論研究 —「媒介・過程モデル」の素描—
 - 〈研究ノート〉「障害過程論」の構築をめざして
 - ソーシャルワーク実践における価値
 - 医師・看護婦・ソーシャルワーカーの比較調査から—

- 「社会福祉学」(第38-1号 通巻56号) 1997年6月発行
 - 〈特 集〉人権と社会福祉 —市民主体活動を支援する立場から—
 - 高齢者福祉に関する人権論 —最近の課題を巡って—
 - 人権と社会福祉 —ジェンダーの視点から見る「女性の人権」—
 - 現代の貧困問題と人権 —住所不定者問題と生活保護裁判—
 - 〈論 説〉社会福祉と自由原理の関係について
 - J. S. ミル・L. T. ホブハウス・A. センの比較検討—
 - 重度障害者用意思伝達装置の適用に関する諸問題
 - 重度障害者用意思伝達装置ユーザーのケース研究を通して—
 - 機関に関するライフモデル・ソーシャルワーク実践の一考察
 - 職場内インフォーマル集団の形成と
 - エンパワーメントを通じてのフォーマル課題の変容—
 - てんかん患者へのソーシャルグループワーク
 - 青年期患者への認知—行動療法の導入—
 - 岡村家族福祉論の検討 —家族福祉研究の課題を探る—
 - 〈研究ノート〉障害者の自立生活を支える介護形態の検討
 - 転院援助行為とソーシャルワーカーの日常活動
 - 社会福祉における権利意識



- 「社会福祉学」(第38-2号 通巻57号) 1997年12月発行
 - 〈論 説〉ソーシャルワーク実践における二次的心的外傷後ストレスに関する一考察
 - 心的外傷後ストレス障害(P T S D)に携わる援助者のサポートシステム構築へ向けて—
 - 地域在宅高齢者の抑うつ状態とその関連要因
 - 公的介護保険制度における要介護度認定の考え方
 - 全国60地域で行われた要介護認定結果を基に—
 - 入所施設から地域へ
 - 知的障害者の入所施設設立が20世紀前半と後半の国との比較—
 - わが国に学校ソーシャルワークは必要か?
 - 教頭へのアンケート調査結果より—
 - 子どもへの不適切な関わりに対する専門職の認識構造
 - 〈研究ノート〉生きがいづくり支援サービスの効果評価とサービス開発の観点
 - 高齢者の生きがいの創造を予測する視点に関する予備的検討—
 - 家族実践における家族中心ソーシャルワークの有効性
 - 韓国の社会福祉政策の成立過程と社会統制 —軍事政権の福祉立法を中心に—
 - 〈資 料〉町村での農村社会事業から戦時厚生事業移行期の実態
 - 「福島県報」に見る町村への行政指導を中心に—

購入ご希望の方は学会事務局までF A Xにてお申し込み下さい。

会員名簿についてのお詫び

本年度新たに作成した会員名簿は、見やすいように、利用しやすいようにと検討を重ね新形式にしました。新たに、F a x番号とE-m a i lも掲載しました。すでにお手元に届いていることと思います。

ところが、印刷会社のミスで、「名誉会員」、「中国・四国ブロック」、「九州ブロック」、「海外の会員」のページで、勤務先の電話番号がずれる等の事故が発生してしまいました。さらに、「所属ブロックを移動された会員」にもミスが発生しました。業者から「てん末書」を提示してもらい、業者との話し合いの結果、これらの事故が発生した部分について業者側の負担で新たに訂正版を作成し、学会事務局でチェックしたものを、全会員宛に発送してもらうことになりました。該当の「名誉会員」、「中国・四国ブロックの会員」、「九州ブロックの会員」、「海外の会員」、「所属ブロックを移動された会員」の皆様をはじめ会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。その他、会員名簿でお気づきの点がありましたらどのようなことでも事務局までご連絡下さい。



日本社会福祉学会 公開シンポジウムのお知らせ

学会では、今年度も、学会主催の公開シンポジウムを全国3カ所（東京、岡山、仙台）で開催する予定です。ぜひ、多くの会員のご参加をお待ちしております。

東京では、9月23日（水）駒澤大学100周年記念講堂（世田谷区駒沢）にて、別紙のような『社会福祉基礎構造改革』をテーマに開催準備を進めています。なお、事前の申込をお願いします。FAX（03-3358-2204）、またはおハガキにて学会事務局までお申し込み下さい（会員の方は、必ず会員No.を明記して下さい）。また、公開シンポジウムですので会員以外の方々、学部学生、大学院生にもお声をかけていただければ幸いです。申し込まれた方は、当日、会場受付へ直接おいで下さい。

岡山では、11月7日（土）衛生会館5階中ホール（岡山市古京町）にて、『社会福祉基礎構造改革とは何か』をテーマに、公開シンポジウムの準備を進めております。さらに、仙台でも、公開シンポジウムの準備を進めております。

具体的には次のニュースでお知らせします。

日本社会福祉学会中部部会

秋の例会のお知らせ

98年度は、以下の日程で例会を開催いたします。是非ご参加ください。

秋の例会

と き 1998年10月4日（日） 13:30～17:00

ところ 愛知青年会館 第四会議室

内 容 共通論題「ケアワークの現状と課題」

司 会 宍戸 明美会員（中部学院大学）

報告者 高森 敬久会員（金城学院大学）

宮本 益治会員（東海学園大学）

神谷 鉦子氏（高浜市地域福祉サービスセンター主任ホームヘルパー）

コメンテータ

若松 利昭会員（日本福祉大学）

連絡先 中部部会事務局 同朋大学（吉村・末崎） TEL 052-411-1111



学会ニュース 編集後記

●大会参加費等の振り込みはされましたか？

日本社会福祉学会第46回全国大会が明治学院大学白金校舎（東京都港区白金台）で10月17日（土）・18日（日）に開催されます。大会参加費等の振り込みはされましたか？まだの方は、事前振込（6,000円、当日の場合8,000円）の期限が9月30日（水）まで延期されました。参加される方は、すぐに振り込みの手続きをお願いします。「研究報告概要集」の印刷部数の判断のため、また、週末に高額現金を扱うのは難しいためです。会員の皆様のご協力をお願いします。

●9月23日（水）駒澤大学記念講堂での『社会福祉基礎構造改革』公開シンポジウムには、厚生省社会援護局炭谷茂局長さんが祝日（秋分の日）にもかかわらず、基調講演を快諾してくださいました。また、午後のシンポジウムには、シンポジストとして吉村敦生（大阪自彊館理事長）、福武総一郎（ベネッセコーポレーション社長）、橋本宏子（神奈川大学教授）諸氏が、コメンテーターには、京極高宣（日本社会事業大学学長）、安岡厚子（田無市市議会議員、NPOサポートハウス年輪介護コーディネーター）の諸氏から活発なご意見・ご議論ををいただく予定です。ご期待下さい。ぜひ、多くの会員のご出席をお待ちしております。会場は、渋谷駅より、地下鉄

玉川線で3つ目「駒澤大学駅下車」徒歩5分です。

●学会の新しい事務所は、日本地域福祉学会、日本社会事業学校連盟（東京事務所）との3団体共同の事務所となり、スペースも広くなりました。四ツ谷駅から徒歩7分の便利な場所です。

●日本社会福祉学会は、8月15日現在3,286人の会員が所属しています。全国大会への参加、学会機関誌への投稿、地方部会での活動など、会員一人一人の積極的な参画を期待しています。
高橋 重宏（庶務担当理事）

事務局連絡

▼残暑お見舞い申し上げます。新事務所へ越してもうすぐ3カ月になります。ここでは、毎日蝉の声が聞こえます。

▼日本社会福祉学会は、日本地域福祉学会と電話、FAX等を共有している合同事務所です。ご連絡の際は必ず宛先をお書き下さい。

▼名簿の件では、ご迷惑をおかけ致しました。訂正版は、9月の初めにはお送りできる予定です。

▼本年度も、8月10日（月）より8月19日（水）を夏期休業期間とさせていただきます。その間のご連絡はなるべくFAXにてお願い致します。よろしくお願い致します。

（事務局 春山）

※

発行人 阿部 志郎
編集人 古川 孝順
発行日 1998年8月20日
発行 日本社会福祉学会

学会ニュース 1998年度No.2

※

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501
TEL.03-3356-7824 FAX.03-3358-2204

※

※